



2020.6.3

4年連続で「地方創生への取り組み」が優良事例として表彰されました

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、まち・ひと・しごと創生本部事務局（内閣官房）より「令和元年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として表彰されましたので、その概要をご案内します。

なお、平成28年度から4年連続での受賞は、地方銀行では静岡銀行のみとなります。

1. 静岡銀行の受賞事例について

(1) 事例／地方公共団体と連携した新現役交流会開催及び Web システムの活用による地域中小企業の課題解決に向けた取組（静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫）

(2) 概要

○静岡市では、平成30年度より、地域中小企業と新現役人材(※)とのマッチングを目的に「新現役交流会」を開催しています（主催：静岡市、共催：焼津市・しずおか焼津信用金庫・静岡信用金庫等）。

※新現役人材とは、首都圏に在住し、大手企業などを退職された OB で、豊富な実務経験や専門知識、人的ネットワークを有するシニア人材

○静岡銀行では、今年度からの本格的な参画をめざして、連携機関が有する経営資源を活かしながら、地理的課題の解決や時代のニーズにマッチする新たな方式として、東京と静岡を結ぶ Web システムを活用した「オンライン商談プラットフォーム」を提供します。

○本取り組みを通じて、より多くの面談機会を提供することで、経営人材・専門人材のさらなるマッチングを進め、地域中小企業が抱える経営課題の解決を図るとともに企業の成長を支援します。

2. 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」について

(1) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が、金融機関等の地方創生に資する取り組みのなかから、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例などを選定したものです。

(2) 今年度は、73 の金融機関による 34 事例（複数の金融機関による取組事例を含む）が地域への効果の高い自立的な取組として選定されました。

「地方公共団体と連携した新現役交流会の開催及びWebシステムの活用による地域中小企業の課題解決に向けた取組」 (しずおか焼津信用金庫・静岡信用金庫・静岡銀行)

1. 取組の概要

- ・大企業OB・OGで現役時代に培った豊富な実務経験・専門知識・人的ネットワークなどを持つ新現役人材と地域中小企業のマッチングの場である「新現役交流会」を静岡市と連携して開催。地理的課題等を解決するため、当該交流会を、東京と静岡をWebシステムでつなぐ「新現役交流会2.0」に発展させることで、より多くのマッチングを成立させ、地域中小企業が抱える様々な経営課題の解決を図ると共に、企業の成長を促す。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・地域経済の活性化に向け、地域の中小企業が競争力を発揮、成長を実現させるためには、人材不足・販路拡大・経営管理の強化など経営課題の解決が求められるが、当該地域においても、専門化・複雑化する経営課題の解決を担う専門人材の確保は、ますます難しくなっている。
- ・①経営課題解決を軸とした新たな中小企業支援及び新たな人材活用、②シニア人材活躍の場の創出を目的に、2018年6月及び2019年9月に、地方公共団体として全国で初めて静岡市が主体となり、しずおか焼津信用金庫及び静岡信用金庫が共催し、「新現役交流会」を開催。
- ・よりノウハウある経営人材・専門人材のマッチングが課題となっていることから、今後はWebシステム等の活用により、東京と静岡を結ぶことで、面談数を増加させ、経営人材・専門人材の更なるマッチングを進める。

3. 具体的な取組内容

- ・静岡市が開催する「新現役交流会」に、より多くの地域中小企業経営者の参加を促すため、地域金融機関として地方創生連携協定を締結するしずおか焼津信用金庫及び静岡信用金庫等が参画。
- ・また、より多くの専門人材とのマッチングを目的に、地元大・中堅企業との取引にも強みを有する静岡銀行が、当該取引先に対して新現役事業を紹介し、本件マッチングへの参加を企図。
- ・同行がオンラインによる面談会場を東京に用意し、フィジカルとサイバーのマルチチャネルによる交流会を企図。なお、オンライン面談に関しては、異業種連携を進める静岡銀行において、スタートアップとの協業によりオンライン面談プラットフォームの構築を進める予定。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・マッチングの面談と並行して、面談に参加しない一般事業者向けに新現役人材を講師にセミナーを実施予定。新現役事業の認知向上につなげるほか、新現役人材の活用が経営課題の解決に資することへの「気づきの場」を提供することで、次回以降の面談参加を促す。
- ・地域中小企業の経営課題は多種多様であり、より多くの専門人材の参加が求められることから、地元の取引先大企業・中堅企業にも新現役事業及び交流会への参画を呼び掛けると共に、費用や時間など新現役人材の移動にかかる負担を軽減するためにオンラインでの面談を企画。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・静岡市が開催した過去2回の「新現役交流会」において25件のマッチング実績(2018年、2019年累計参加企業:43社、2019年は台風の影響あり)。
- ・2020年9月に開催予定の「新現役交流会」においては、Webシステムの活用を図ると共に、他地域における横展開を企図。

6. スキーム図等

静岡市
地域金融機関と連携した新現役活用推進

しずおか焼津信用金庫・静岡信用金庫
取組実績を生かしノウハウを共有

地域中小企業

3回の支援後、直接顧問契約の可能性

新現役交流会

新現役

豊富な実務経験・専門知識・人的ネットワーク

UP
関係人口

他地域への横展開

静岡銀行

異業種連携によるオンライン
商談プラットフォームの構築

取引先大企業・中堅企業への展開



マッチング
新現役交流会2.0
セミナー

オンライン個別面談

(2020年予定)

- フィジカルとサイバーの融合、マルチチャネルによる「新現役交流会2.0」を開催
- 新現役人材活用認知を目的に、地域中小企業向け「新現役を講師としたセミナー」を同時開催
- 静岡銀行の取引先（大企業・中堅企業）への新現役事業紹介と参加促進